

2024年7月31日 発行

# 公益社団法人 福井県理学療法士会

## News Letter No. 214

発行人：福井県理学療法士会  
〒910-0855  
福井市西方 1-2-11 嶋田病院  
会 長：小澤 純一  
情報通信部：小川智生

### 「福井県理学療法士会 会長就任のご挨拶」

代表理事 小澤 純一

2024年5月19日に開催された社員総会において、四谷昌嗣前会長の後任として（公社）福井県理学療法士会会長を拝命した福井県立病院の小澤純一です。当会は来年に50周年の節目を迎えますが、多くの先輩方が築いてこられた道筋をしっかりと受け継ぎ、皆さんと力を一つにしながらず会を発展させていきたいと思っております。

1975年4月27日、9名の理学療法士により福井県理学療法士会発会式が開催され、その歴史はスタートしました。当時の会長である佐々木良一先生の士会10周年記念誌の記事をみると、「9名に始まり28名にまで会員は増加しましたが、その発展は遅々として進まず…」との言葉があり、現在の当会の状況とは違ったご苦労が窺えます。親睦活動や研修など内向きの活動だけでなく、「一步でいい、とにかく自分で外に出てみよう」と会員に呼び掛けており、社会の中で自分たちの地位を確立したいとの強い思いが感じられます。

現在、会員は900名を数え、施設数も200に近づきつつあります。数年にわたるコロナ禍で士会活動が制限される中、私たち士会員同士の交流や活動参加がやや希薄になったように感じます。この任期に、1,000人士会を目指して、以下の『つなぐプロジェクト』を進めてまいります。

①会員をつなぐ：私達の士会活動は、会員との方々のつながりが源泉です。県内ブロック、施設管理者、職域（急性期・回復期・生活期）のネットワークで、会員相互をつなぎます。

②学術をつなぐ：私達の価値は、理学療法に関する専門知識と技術が基盤です。リハビリテーション専門職として、その質の向上のため、生涯学習（特に登録理学療法士の取得・更新）につなぎます。また、来年度、福井県で開催される第41回東海北陸理学療法学会に、多くの会員の方々に参加していただけるよう準備を進めてまいります。

③社会をつなぐ：私達の活動について積極的に情報発信を進め、目的を持った公益事業展開（医療・福祉・公衆衛生など）で理学療法と社会をつなぎます。

④未来をつなぐ：若い会員の方が士会活動に参加していただける機会を創出し、新しい士会をデザインしていきます。

最後になりますが、福井県理学療法士会は発展の途中にあります。私達が描く理学療法像の実現に向けて、多くの方々とつながりながら意見を交わして成長していく組織です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願いいたします。

2024年7月31日

## 新入会員紹介 2024

今年度の新入会員を紹介します！！



杉田玄白記念公立小浜病院  
田辺秀太 大谷一生 赤崎成基



奥村病院  
佐々木陸翔



福井県立病院  
小林亜緒衣



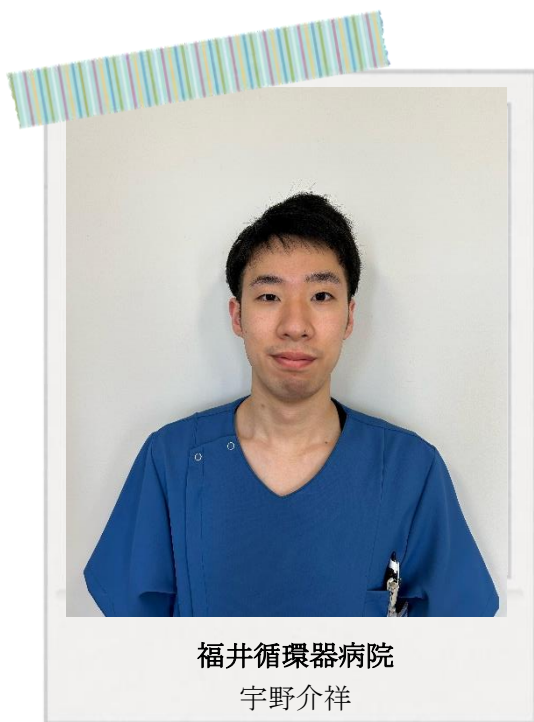
株式会社ハート&ハート  
宮平 恒汰 畑 優希美 古川 聖也

2024年7月31日



○福井総合病院

坂井優香 福山萌乃佳 笹岡柊汰 保科啓斗



福井循環器病院  
宇野介祥

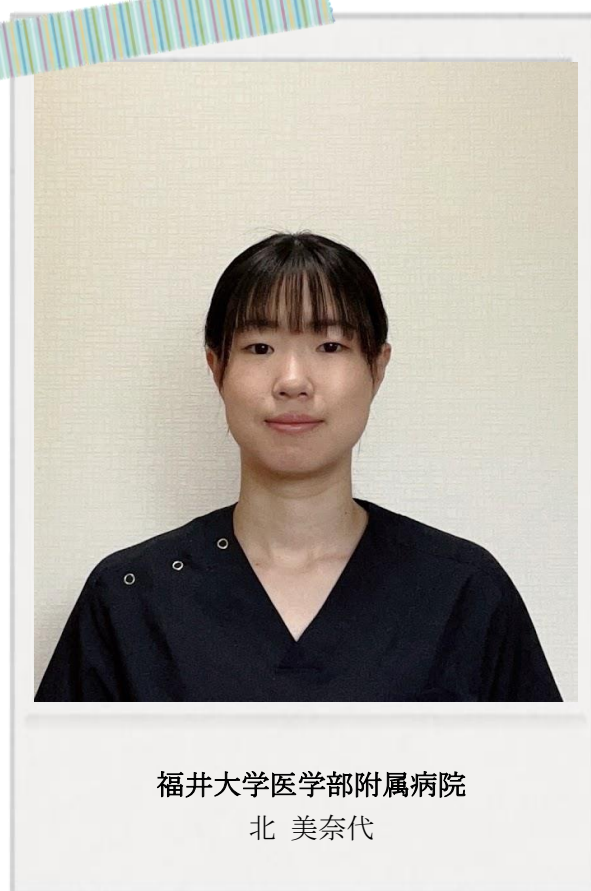


福井厚生病院

佐々木逸実 村中奎太 白崎稜太 大山瞬



2024年7月31日



2024年7月31日

執筆者：地域支援部 小林文平先生

WORKING!

## 「社会局 地域支援部」

「あんにしかできん。PTの職能を使って世の中を良くしていこう。」

当時の地域支援部理事、吉本理事にそういわれて私の地域支援部の活動はスタートしました。宗教の勧誘かと思ひ、懐疑的にお話を聞いていたのを覚えています。あれから12年。地域支援部の活動は今では自分の働き方の根幹となっている活動です。



社会局は理学療法士の職能を用いて地域に貢献を行う部局です。中でも地域支援部は他業種への支援を中心に行います。具体的にいうと、地域で他団体から出てくる「PTにこんなことを手伝ってほしい！」という声に耳を傾け、事業として実施しています。例えば、県からの委託事業を定期的に受けています。過去には地域の牛乳屋さんからの依頼で健康教室を実施したこともありました。ここ最近通年でやっている事業としては、①ケア技術支援と②難病コミュニケーション支援があります。①については、ケアに携わるコメディカルスタッフに対してケア×リハビリテーションの視点で、“拘縮・褥瘡を防ぐシーティング・ポジショニング”や“能力を引き出す起居・移乗動作”等のテーマで研修の講師を行っています。県社協様からの委託事業を受けたり、福井県介護福祉士会様とタッグを組んでイベントや研修会などを行っています。②については、県が実施している難病コミュニケーション支援事業の受け皿となり、講師としてコミュニケーション機器の提案や説明、セッティングなどを行っています。



2024年7月31日

どちらの事業も、様々なご縁と先人 PT の試行錯誤により今の形となっており、他団体から「この分野はPTに頼む！」と声をかけていただきます。非常にありがたいことであり、地域に求められる喜びとともにPTの職域拡大の可能性も感じます。最近はこのような地域のニーズに対して、地域支援部とブロックが協力して対応できるように事業計画を立てています。ブロックの研修会でもお話しする機会がありますので、ぜひご参加いただき、興味をもって聞いていただけると幸いです。



最後になりますが私達、福井県理学療法士会は公益社団法人であり、社会局の活動は“公益”の実働にあたる部分だと思っています。

「あなたにしかできません！PTの職能でお住まいの地域を良くしていきましょう！」



2024年7月31日

## 事務局からのお知らせ 7月



### ◆ 会員の動向（令和6年5月末現在） ◆

会員数：932名（勤務先会員 894名、自宅会員 38名）、施設数：201施設

新入会員：45名、復会者数：1名、休会者数：8名、退会者数：1名

＊会員の皆様、当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

士会活動は皆様の会費によって運営されております＊

### ◆ 会費について ◆

本会会員の皆様、令和6年度年会費を昨年度末（3月31日）までに納入していただいておりますが、現在、納入の確認が取れてない方がいらっしゃいます。年度末に納入が無い方については、協会より請求書が送付されます。期日までに納入がない場合は会費未納により退会の手続きがなされますのでご注意ください。退会後は以下の会員権利が喪失いたします。

また、年度途中の入会・復会・休会・退会は当年度の会費全額の納入が必要です。

**【喪失事項】** 退会処理後は、以下の会員権利が喪失いたします

- ・新人教育プログラム、認定理学療法士、専門理学療法士取得等の生涯学習の履歴
- ・理学療法士賠償責任保険の加入
- ・各種研修会・講習会への会員割引料金での参加
- ・日本理学療法学会大会への無料での演題登録
- ・学術論文誌「理学療法学」ならびに会報誌「JPTA NEWS」の年6回の送付
- ・会員限定公開の学術情報（理学療法に関する各種ガイドライン等）
- ・国際情報等の入手
- ・福利厚生サービス「クラブオフ」の利用

\*退会処理施行後、再度本会への在籍をご希望いただく場合には、改めて入会手続きが必要となります。その場合は、生涯学習の履修は再度取得が必要です。

いかなる理由があろうとも、以前ご在籍時の生涯学習履歴の移行は出来かねます。

### ◆ 会員の皆様へ ◆

会員の皆さま、平素より当士会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

すでに気温30度を超える日が続き、今年夏も厳しい暑さが予想されております。汗で失われる栄養素（ナトリウム・カリウム・マグネシウム）を補うために、野菜、果物、海藻類、豆類を多く摂取しましょう☆



福井県理学療法士会 事務局

笈田裕美 横井浩江

TEL : 0776-29-7003

Mail : office@fpta.co.jp

2024年7月31日

賛助会員

有限会社 奥義肢製作所様

福井県福井市二の宮 2丁目

北陸大学様

石川県金沢市太陽が丘 1丁目 1

株式会社 大塚製薬工場様

福井県福井市大手2丁目7-15 明治安田生命福井ビル 3F